

白河市工業用水道事業

經營戰略

令和4年3月

白 河 市

目 次

1. 事業概要	1
(1) 事業の現況	1
(2) これまでの主な経営健全化の取組	2
(3) 経営比較分析表を活用した現状分析	2
2. 将来の事業環境	4
(1) 水需要の予測	4
(2) 料金収入の見通し	4
(3) 施設の見通し	4
(4) 組織の見通し	4
3. 経営の基本方針	6
4. 投資・財政計画（収支計画）	6
(1) 投資・財政計画（収支計画）	6
(2) 投資・財政計画（収支計画）の策定に当たっての説明	6
(3) 投資・財政計画（収支計画）に未反映の取組や今後検討予定の取組の概要	8
5. 経営戦略の事後検証、更新等に関する事項	9
別表①投資・財政計画（収益的収支）	10
別表②投資・財政計画（資本的収支）	11

白河市工業用水道事業経営戦略

団 体 名： 白河市
事 業 名： 工業用水道事業
策 定 日： 令和4年3月
計 画 期 間： 令和4年度～令和13年度（10年間）

1. 事業概要

(1) 事業の現況

① 給 水 (令和3年3月31日現在)

供用開始年月日	平成20年4月7日	契 約 水 量	340 m ³ /日
給水先事業所数	3 事業所	一日平均配水量	466 m ³

② 施 設 (令和3年3月31日現在)

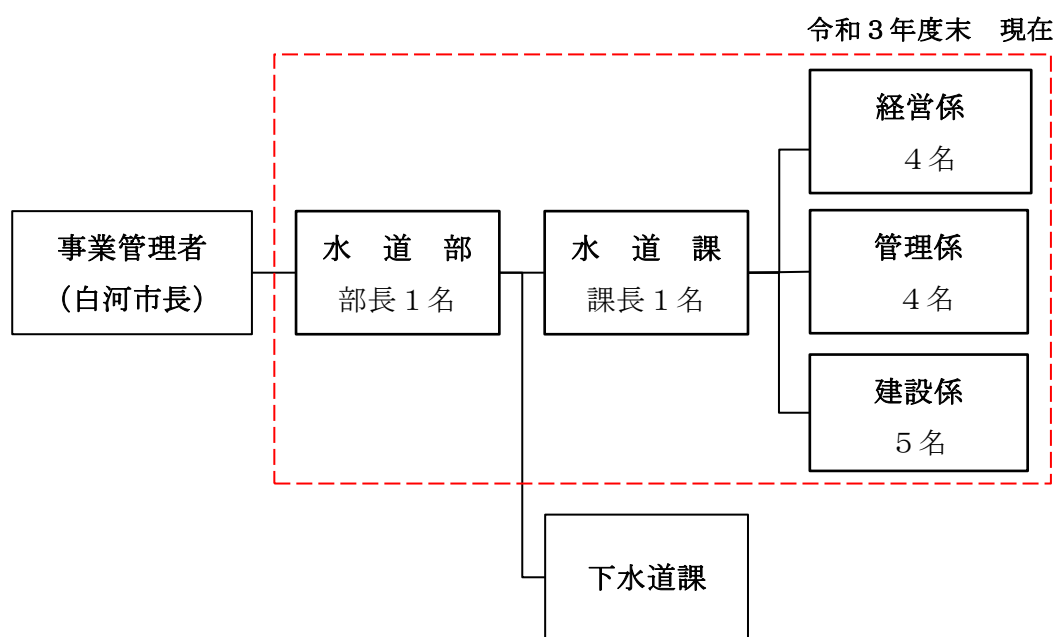
水 源	地 下 水		
施 設 数	取水場 1 箇所	管 路 延 長	送・配水管 10,733 m
	配水池 2 箇所		
現在配水能力	6,000 m ³ /日	計画配水能力	6,000 m ³ /日

③ 料 金

料金体系の概要	基本料金：60円/m ³ （税抜） 超過料金：120円/m ³ （税抜） メーター使用料：【口径別】2,600円～8,700円/月（税抜）
料金改定年月日	改定実績なし ※消費税及び地方消費税の改定は含まない。

本市の料金制度は、契約水量に応じて料金を徴収する責任使用水量制を採用している。責任使用水量制は、1日あたりの基本使用水量をあらかじめ契約水量で定め、実際使用した水量がこの範囲内であれば、基本使用水量にかかわらず契約水量を算定料金としている。超過料金は、契約水量を超えた超過使用水量に適用としている。メーター使用料は、口径別に徴収している。

④ 組織



水道事業及び工業用水道事業に係る組織体制は、平成30年4月1日から水道課の1課3係で構成されている。

令和3年度末現在は、職員15名で事業を運営しており、水道事業業務と工業用水道事業業務を兼任している。

(2) これまでの主な経営健全化の取組

工業用水道事業は同じ公営企業として、水道事業と同じ組織の中で運営することで、人件費及び施設維持管理費の縮減を図っている。

また、水道事業の施設遠隔監視システムに工水施設の遠隔監視を構築し運転管理の効率化に努めている。

(3) 経営比較分析表を活用した現状分析

令和2年度経営比較分析表を次項に示す。

経営比較分析表／団体全体（令和2年度決算）

福島県 白河市

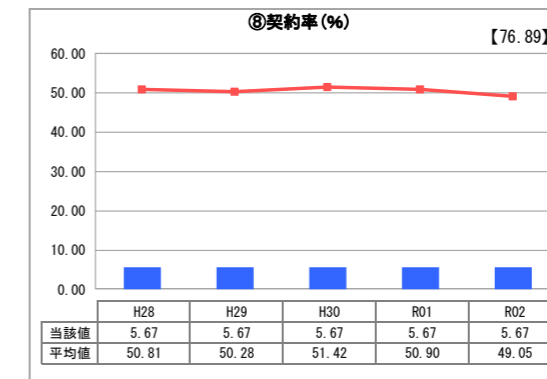
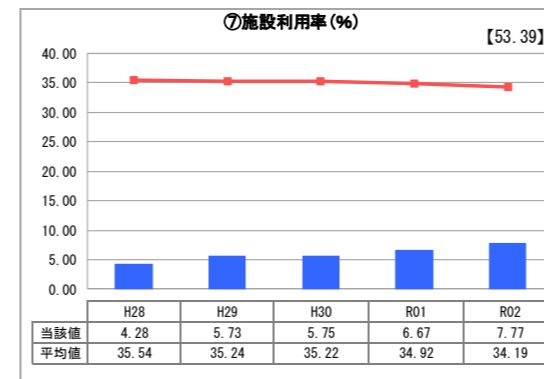
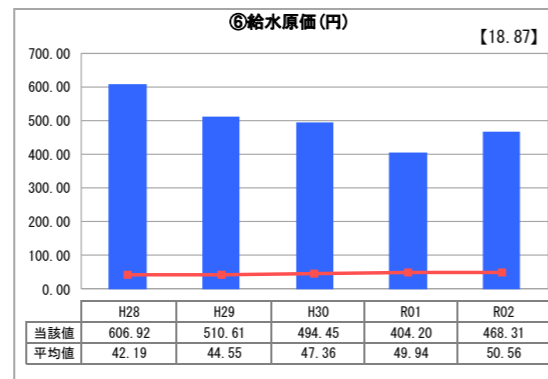
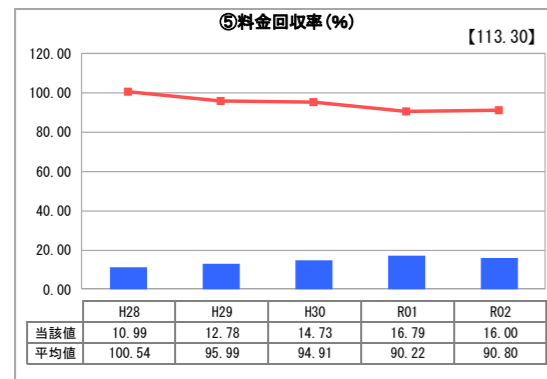
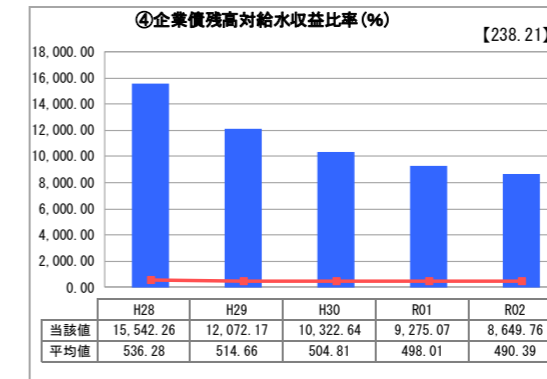
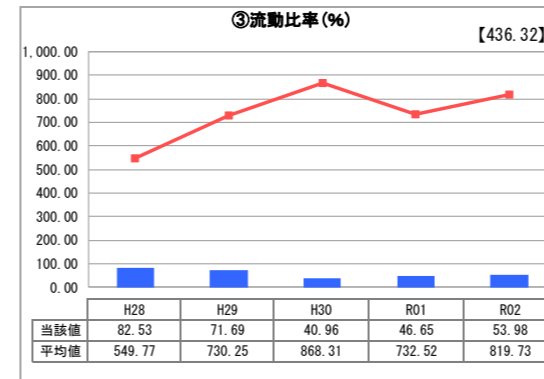
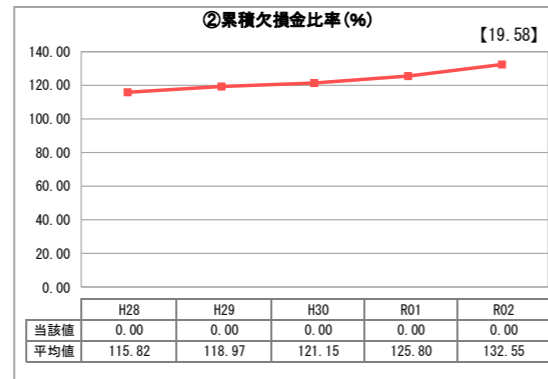
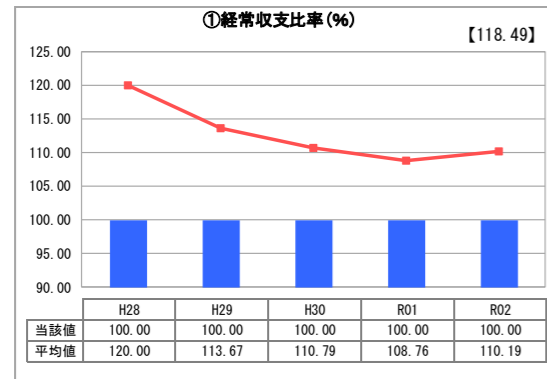
【事業概要】

業務名	業種名	現在配水能力(合計)(m ³ /日)	類似団体区分	施設数	1日平均配水量(m ³)
法適用	工業用水道事業	6,000	極小規模	1	466
資金不足比率(%)	自己資本構成比率(%)	給水先事業所数	契約水量(m ³ /日)	管理者の情報	
-	22.1	3	340	非設置	

グラフ凡例

- 当該団体値(当該値)
- 類似団体平均値(平均値)
- 【】 令和2年度全国平均

1. 経営の健全性・効率性



分析欄

1. 経営の健全性・効率性について

本市、工業用水道事業の経営は、給水先事業所の使用水量が少なく、大幅な給水収益が見込めない状況であり、収支不足額を一般会計からの補助金で補填している。

①経常収支比率、②累積欠損金比率は補助金の補填により、①経常収支比率は100%を保ち、累積欠損金は出ていない。

③流動比率は100%を下回り、④企業債残高対給水収益比率は極めて高く、負債の状況である。

⑤料金回収率は100%を下回り、⑥給水原価は類似団体と比較すると極めて高い。

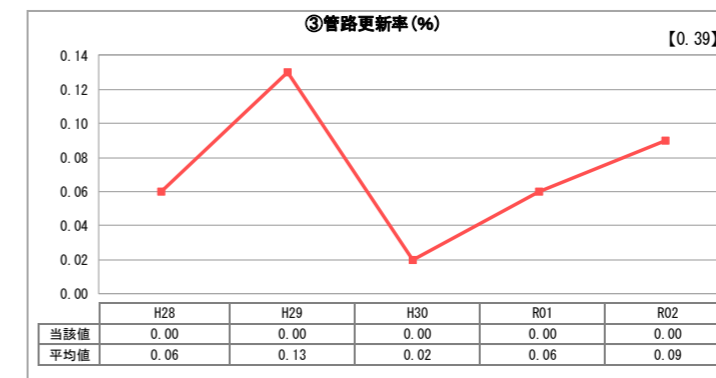
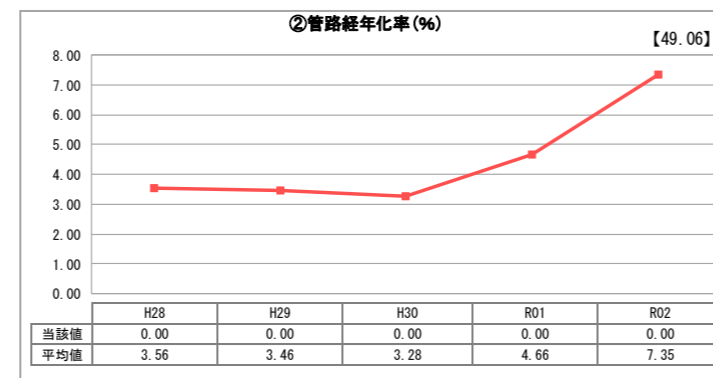
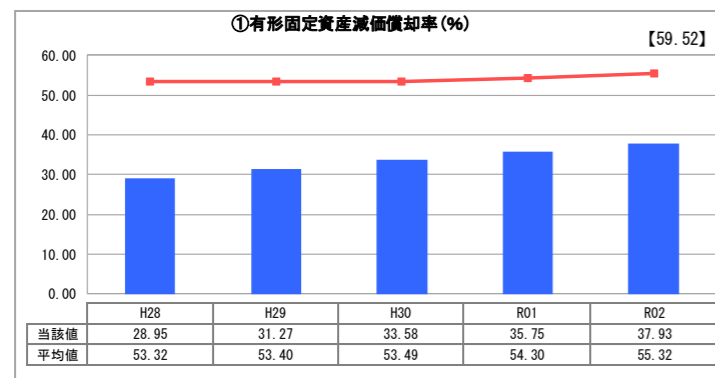
⑦施設利用率及び⑧契約率は極めて低いことから、非効率な施設稼働状況となっている。

2. 老朽化の状況について

①有形固定資産減価償却率は増加傾向であるが類似団体と比較すると低い状況である。

②管路更新経年比率③管路更新率は、管路更新を実施していないため指標は無い。

2. 老朽化の状況



全体総括

経営の健全性については、収支不足額を一般会計からの補助金で補填することで、保たれている現状である。

今後は、現在の契約水量の維持を図りつつ、一般施策と協調しながら、新たな給水先の確保や契約水量の増加を図り、給水収益向上に努める。

また、経営基盤強化のために、効率的な事業運営に努める。

2. 将来の事業環境

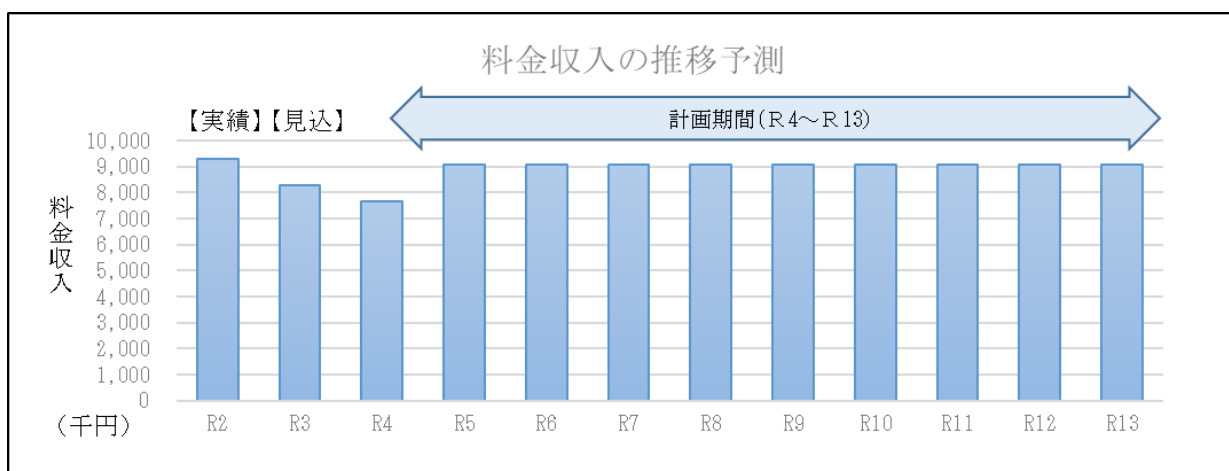
(1) 水需要の予測

令和3年3月31日現在の基本使用水量は、3事業所合計で340 m³/日である。

現給水先事業所のうち1事業所が令和5年4月より基本使用水量60 m³/日を増量変更する予定となっており、3事業所合計で400 m³/日の見込である。

令和5年度以降の計画期間内については、同水準の需要量を予測している。

(2) 料金収入の見通し



料金収入である給水収益については、責任使用水量制を採用しているため、前述の水需要予測と連動して推移していく見通しである。

詳細については、次項に示す。

(3) 施設の見通し

施設や管路の更新期が到来していないため、計画期間内においては大規模な更新事業を予定していない。

また、新規給水先事業所の増加や契約水量の大幅な増加が見込まれていないため、新たな設備投資や建設改良は予定していない。

(4) 組織の見通し

今後も現体制を維持していく。

料金収入の見通し

(金額は全て税抜)

	R2	R3	R4	R5	R6	R7
	2020	2021	2022	2023	2024	2025
基本使用水量 (m ³ /日)	340	340	340	400	400	400
基本使用水量 (m ³ /月)	10,342	10,342	10,342	12,167	12,167	12,167
基本使用水量 (m ³ /年)	124,100	124,100	124,100	146,000	146,000	146,000
超過使用水量 (m ³ /年)	13,663	5,195	/	/	/	/
メーター使用料 (円/月)	17,300	17,300	17,300	26,000	26,000	26,000
メーター使用料 (円/年)	207,600	207,600	207,600	312,000	312,000	312,000
基本料金単価 (円/m ³)	60.00	60.00	60.00	60.00	60.00	60.00
超過料金単価 (円/m ³)	120.00	120.00	/	/	/	/
料金収入 (円)	9,293,160	8,277,000	7,653,600	9,072,000	9,072,000	9,072,000

	R8	R9	R10	R11	R12	R13
	2026	2027	2028	2029	2030	2031
基本使用水量 (m ³ /日)	400	400	400	400	400	400
基本使用水量 (m ³ /月)	12,167	12,167	12,167	12,167	12,167	12,167
基本使用水量 (m ³ /年)	146,000	146,000	146,000	146,000	146,000	146,000
超過使用水量 (m ³ /年)	/	/	/	/	/	/
メーター使用料 (円/月)	26,000	26,000	26,000	26,000	26,000	26,000
メーター使用料 (円/年)	312,000	312,000	312,000	312,000	312,000	312,000
基本料金単価 (円/m ³)	60.00	60.00	60.00	60.00	60.00	60.00
超過料金単価 (円/m ³)	/	/	/	/	/	/
料金収入 (円)	9,072,000	9,072,000	9,072,000	9,072,000	9,072,000	9,072,000

3. 経営の基本方針

工業用水道事業は、企業の生産活動を支える重要なライフラインであり、企業へ持続的に良質な工業用水を安定して供給することを第一に、計画的かつ効率的な事業運営を行うこととする。

4. 投資・財政計画（収支計画）

(1) 投資・財政計画（収支計画）

別表（巻末）のとおり

(2) 投資・財政計画（収支計画）の策定に当たっての説明

①投資について

目 標	施設の適切な管理による安定供給の継続
-----	--------------------

将来の更新に向けて、既存施設設備の定期的な点検や適切な修繕による予防保全に努める。また、将来の更新費用の平準化を図るために、施設設備の長寿命化対策を行っていく。

②財源について

目 標	料金収入及び補助金による財源の確保
-----	-------------------

【料 金】

計画期間内の水需要により契約水量及び現行料金を基本として積算した。

料金収入の算出方法は、前述の料金収入の見通しのとおり。

【企業債】

計画期間内に建設改良を予定していないため、原則として企業債の発行を行わない。

【繰入金】

白河市工業用水道事業補助金の交付等に関する要綱に基づき、収支不足を一般会計からの補助金により補填する。

③投資以外の経費についての説明

(経費の積算の考え方について)

(ア) 通信運搬費

令和3年度決算見込と同水準を計上した。

(イ) 委託料・手数料・修繕費

施設設備の維持管理・修繕計画に基づき計上した。

(ウ) 動力費

令和4年度以降は各前年度に、令和3年度決算見込に電気料の高騰を考慮して値上率(1.07%)を乗じた額を計上した。

(エ) 負担金

令和3年度決算見込と同水準を計上した。

(オ) 保険料

令和3年度決算見込と同額を計上した。

(カ) 減価償却費

固定資産取得に要した費用を、耐用年数に応じて費用化し、定額法により計上した。

(キ) 資産減耗費

固定資産処分の際に、減価償却費として費用化されていない部分を費用化し計上した。

(ク) 支払利息

発行済み企業債の利息償還のみ計上した。

(3) 投資・財政計画（収支計画）に未反映の取組や今後検討予定の取組の概要

①投資についての検討状況等

施設・設備の縮小 (ダウンサイジング)	取水施設及び配水施設は今後も現状どおり維持していく予定だが、供給動向を見ながら、縮小について適時検討する。
施設・設備の合理化 (スペックダウン)	施設を更新する際には、ダウンサイジングと共にスペックダウンについて検討し、適切な施設規模による事業運営を行う。
施設・設備の長寿命化等の投資の平準化	適切な維持管理・修繕などによって長寿命化を図り、水道経営に悪影響を及ぼさないよう可能な限り平準化を図る。
その他の取組	今後の施設・管路更新に備えて、アセットマネジメント手法による更新計画の策定を検討する。

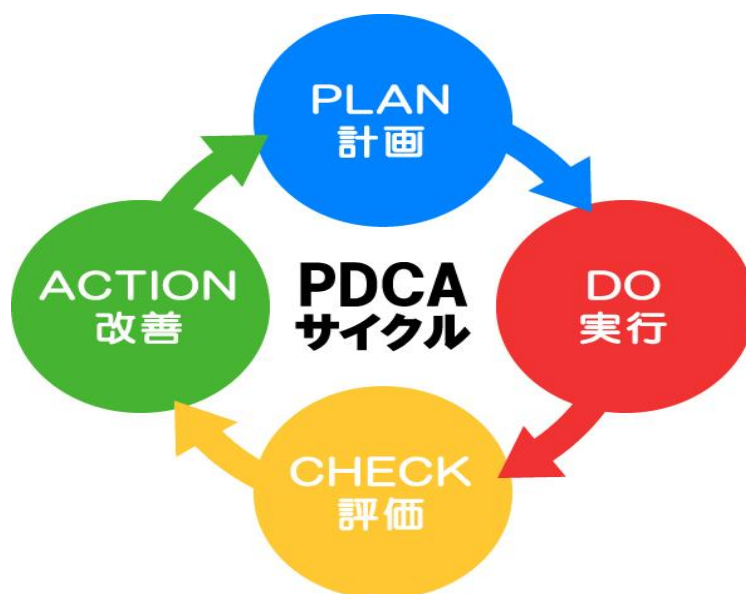
②財源についての検討状況等

料 金	現在の契約水量の維持を図りつつ、一般施策と協調しながら、新たな給水先の確保や契約水量の増加を図る。
企 業 債	債務負担が大きくなるよう留意し、可能な限り企業債の発行を抑制する。
繰 入 金	白河市工業用水道事業補助金の交付等に関する要綱に基づく繰入金を基本とする。
その他の取組	今後、その他の取組について検討事項が発生し次第、適時検討を行う。

5. 経営戦略の事後検証、更新等に関する事項

本経営戦略は、概ね5年ごとに見直しを行うこととするが、今後、企業情勢や社会情勢などの変化により、工業用水道事業に大きな変化が生じる場合もある。

このことから、計画(P l a n)・実施(D o)・検証(C h e c k)・改善(A c t i o n)のPDCAサイクルを踏まえたフォローアップを行い、計画との乖離が著しい場合には適時見直しを図る。



別表②

投資・財政計画（資本的収支）

【単位：円（税込）】

年 度		令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度	令和11年度	令和12年度	令和13年度	
区 分		(決算)	(決算)	(決算見込)	(予算)										
資 本 的 収 入	1. 企 業 債														
	うち資本費平準化債														
	2. 他 会 計 出 資 金														
	3. 他 会 計 補 助 金	32,904,383	35,420,783	31,304,915	33,061,583	33,644,995	7,158,511	8,122,060	8,574,425	0	0	0	0	354,177	
	4. 他 会 計 負 担 金														
	5. 他 会 計 借 入 金														
	6. 国（都道府県）補助金														
	7. 固定資産売却代金														
	8. 工 事 負 担 金														
	9. そ の 他														
	計 (A)	32,904,383	35,420,783	31,304,915	33,061,583	33,644,995	7,158,511	8,122,060	8,574,425	0	0	0	0	354,177	
	(A)のうち翌年度へ繰り越される支出の財源充当額 (B)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	純 計 (A)-(B) (C)	32,904,383	35,420,783	31,304,915	33,061,583	33,644,995	7,158,511	8,122,060	8,574,425	0	0	0	0	354,177	
	資 本 的 支 出	1. 建 設 改 良 費	0	0	72,000	616,990	0	0	300,000	0	0	80,000	685,000	0	0
うち職員給与費															
2. 企 業 債 償 還 金		63,513,128	64,696,628	65,902,892	67,132,365	68,385,510	41,895,976	42,611,706	43,340,163	25,246,317	25,603,317	25,965,365	26,332,535	26,704,900	
既 往		63,513,128	64,696,628	65,902,892	67,132,365	68,385,510	41,895,976	42,611,706	43,340,163	25,246,317	25,603,317	25,965,365	26,332,535	26,704,900	
新 規															
3. 他 会 計 長 期 借 入 返 還 金															
4. 他 会 計 へ の 支 出 金															
5. そ の 他															
計 (D)	63,513,128	64,696,628	65,974,892	67,749,355	68,385,510	41,895,976	42,911,706	43,340,163	25,246,317	25,683,317	26,650,365	26,332,535	26,704,900		
資本的収入額が資本的支出額に不足する額 (D)-(C) (E)	30,608,745	29,275,845	34,669,977	34,687,772	34,740,515	34,737,465	34,789,646	34,765,738	25,246,317	25,683,317	26,650,365	26,332,535	26,350,723		
補 填 財 源	1. 過 年 度 損 益 勘 定 留 保 資 金	23,701,696	27,866,928	33,261,060	33,261,060	33,271,430	33,271,430	33,271,430	33,326,051	25,246,317	25,683,317	26,650,365	26,332,535	26,350,723	
	2. 当 年 度 損 益 勘 定 留 保 資 金	6,907,049	1,408,917	1,408,917	1,426,712	1,469,085	1,466,035	1,518,216	1,439,687	0	0	0	0	0	
	3. 利 益 剰 余 金 処 分 額														
	4. 繰 越 工 事 資 金														
	5. そ の 他														
計 (F)	30,608,745	29,275,845	34,669,977	34,687,772	34,740,515	34,737,465	34,789,646	34,765,738	25,246,317	25,683,317	26,650,365	26,332,535	26,350,723		
補 填 財 源 不 足 額 (E)-(F)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
他 会 計 借 入 金 残 高 (G)															
企 業 債 残 高 (H)	868,518,402	803,821,774	737,918,882	670,786,517	602,401,007	560,505,031	517,893,325	474,553,162	449,306,845	423,703,528	397,738,163	371,405,628	344,700,728		
○他会計繰入金															
年 度		令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度	令和11年度	令和12年度	令和13年度	
区 分		(決算)	(決算)	(決算見込)	(予算)										
収 益 的 収 支 分		46,141,617	48,772,217	56,312,000	49,475,739	50,690,337	43,098,023	46,128,474	41,931,109	44,174,998	40,241,171	43,673,352	39,689,104	34,614,465	
うち基準内繰入金															
うち基準外繰入金		46,141,617	48,772,217	56,312,000	49,475,739	50,690,337	43,098,023	46,128,474	41,931,109	44,174,998	40,241,171	43,673,352	39,689,104	34,614,465	
資 本 的 収 支 分		32,904,383	35,420,783	31,304,915	33,061,583	33,644,995	7,158,511	8,122,060	8,574,425	0	0	0	0	354,177	
うち基準内繰入金															
うち基準外繰入金		32,904,383	35,420,783	31,304,915	33,061,583	33,644,995	7,158,511	8,122,060	8,574,425	0	0	0	0	354,177	
合 計		79,046,000	84,193,000	87,616,915	82,537,322	84,335,332	50,256,534	54,250,534	50,505,534	44,174,998	40,241,171	43,673,352	39,689,104	34,968,642	

白河市工業用水道事業経営戦略

発行	令和4年3月 白河市水道事業
連絡先	白河市 水道部 水道課 〒961-0975 福島県白河市立石山1番地
電話	0248-27-3222
FAX	0248-27-3223